

第3・4学年 国語科学習指導案

第3学年

1 単元名 大事なことをたしかめよう

2 教材名 「すがたをかえる大豆」(説明文) 国分 牧衛
「食べ物はかせになろう」

3 単元について

(1) 児童について

読むことに関して、3年上「ありの行列」の学習では、ウイルソンの実験やありの行列ができるわけなどの読みとりを行った。キーワードをもとに、段落ごとの内容を読みとる学習を積み重ねてきたことによって、段落ごとの内容をおおむねつかむことができるようになってきた。また、順序を表す接続語に着目しながら読みとりを行ってきたことで、文と文のつながりをとらえられるようになってきた。しかし、段落と段落のつながりや文章全体の構成をとらえるまでには至っていない。

書くことに関しては、身近にあった面白いものの特徴や見た感想について書き出したメモを内容ごとにまとめながら、紹介文を書くことができた。

一人学びでは、文章の読みとりをする際、キーワードや中心文にサイドラインを引いたり、それをもとにして、ワークシートに段落ごとの内容を短い文でまとめたりしてきた。一人学びを通して、キーワードや中心文に着目しながら段落ごとの内容を読みとり、短い文にまとめることができるようになってきた。また、学習課題を解決するために、読みの視点に沿って一人学びをしっかりと行えるようになってきた。

学び合いでは、学習リーダーを中心として、学び合いの進め方をもとに、お互いの考えを発表し合ってきた。学習リーダーを中心とした学び合いを積み重ねてきたことにより、話し合いの仕方に慣れてきて、スムーズに学び合いを行えるようになってきた。また、友達の発表のよいところを取り入れて自分の考えを修正したり、付け足したりすることができるようになってきた。しかし、人数が少ないため、学び合いの中で多様な考えが出てこないことも多く、学び合いが十分に深まらないこともある。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年の読むことの目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。書くことの目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てること」である。これを受けて本単元では、「身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げながら、中心となる語や文、段落相互の關係に注意して文章を読むこと」「本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて、友達と交流すること」を主目標としている。

児童数 3年 男子2名 女子1名 計3名
4年 男子4名 女子3名 計7名
指導者 小野寺 洋一

第4学年

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
- 2 教材名 「アップとルーズで伝える」(説明文) 中谷 日出
「四年三組から発信します」

3 単元について

(1) 児童について

読むことに関して、児童は、接続語や指示語・文末表現に気をつけながら段落ごとに内容を読みとる学習を繰り返してきたことによって、ある程度正確に内容を読み取ることができるようになってきた。4年上「かむことの力」の学習では、かむことのよさについての読みとりを行ってきた。段落ごとに要点をまとめる学習を積み重ねることによって、キーワードを落とさずにまとめたり、短い文で要点をまとめたりする力が育ってきた。また、文章を意味のまとまりごとに分ける学習をしたことにより、指示語や接続語・要点に着目しながら文章全体の構成を考えることができるようになってきた。

書くことに関して、児童は、相手意識をもちながら伝えたい情報を取材し、取材メモを内容ごとに分かりやすく整理しながらまとめ、新聞を書くことができた。

一人学びの場において、各段落のキーワードや中心文にサイドラインを引いたり、各段落の要点をワークシートにまとめたりして文章の内容を読みとっていった。一人学びによって、キーワードや中心文に着目しながら読みの視点に沿って文章を読みとることができるようになってきた。また、一人一人が自分の読みをしっかりとつとめることができるようになってきた。

学び合いの場において、学習リーダーを中心に、お互いの考えを発表し合ったり、友達の発表を取り入れて自分の考えを加筆・修正し合ったりしてきた。学び合いの視点をもとに、友達の音読や考えのよい点や改善点を話し合ってきた。学び合いを通して、友達の意見を素直に取り入れ、自分の考えを修正したり、付け足したりすることができるようになってきた。また、学び合いの視点に沿った話し合いができるようになってきた。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年の読むことの目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。書くことの目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる」である。これを受けて本単元では、「対比・まとめなど、段落相互の関係に気を付けることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ」「学校や地域にある物について知らせるために取材し、相手と目的に応じて選材して分かりやすく伝える」ことを主目標としている。

「すがたをかえる大豆」という教材は、児童にとって身近な大豆やその加工食品について書かれた説明文である。大豆の加工食品の中には、見ただけでは大豆からできているとはわからないものも多いので、意外性をもたせ、新たなことを知る喜びを与えることができる教材である。「はじめ」「中」「終わり」という段落構成をとらえさせやすく、「次に」「また」「さらに」「このように」などの接続語に着目させながら段落相互の関係を考えさせる学習に適している。「食べ物がかせになろう」という教材は、本を探し調べる学習、集めた情報を目的に従って文章にまとめる学習に適した教材である。

(3) 指導にあたって

「つかむ」の段階では、題名の「すがたをかえる」という言葉に着目させ、大豆がどんな食品に変わるかを想像させ、期待感をもって学習に臨めるようにしたい。また、実物の大豆や大豆の加工食品(豆腐・納豆など)を提示して、大豆について興味をもたせていきたい。題名やリード文から、学習のゴール「各段落の小見出しをもとに、文章全体の構成をとらえる」を提示し、学習全体の見通しをもたせ、目的意識をもって学習に臨めるようにさせる。初発の感想を書かせ、それをもとに学習課題や学習計画を立てることで、自分たちの学習だという思いをもたせ、学習課題を解決しようという意識を高めていきたい。学習の見通しをもたせるために、教材文の内容をおおまかにつかませ、「ふかめる」段階での自主的な読みへの下地作りを図りたい。

「ふかめる」段階では、学習のゴールである「各段落の小見出しをもとに、文章全体の構成をとらえる」という目的意識をもたせながら、小見出しを作るために、段落ごとの内容を読みとらせる。その際、キーワードや中心文・指示語・接続語・文末表現に注意させながら読みとりを進め、読みの視点に沿った読みとりの仕方をしっかりと身に付けさせたい。「ふかめる」段階では、一人学びと学び合いを中心に学習課題を解決させていく。一人学びでは、大豆をおいしく食べる工夫や大豆を加工した食品などにサイドラインを引かせたり、ワークシートに整理してまとめさせたりする学習を通して、その段落に書かれている内容をしっかりとらえさせたい。また、一人学びを行わせる前に、読みの視点を明示し、視点に沿った学びをする意識をもたせていきたい。学び合いでは、間接指導時に、読みとった内容をお互いに発表し合い、自分の考えを確かめさせたり新たな考えに気付かせたりするとともに、直接指導時に、キーワードに着目しながら、大豆を加工するとどんなよいことがあるのかを考えさせ、児童の読みをさらに深めさせたい。

「まとめる」段階では、キーワードや中心文をもとに小見出しを付けさせる学習を通して、内容を大きくまとめながら読む読み方を身につけさせたい。また、段落ごとの小見出しをもとに、「初め・中・終わり」という文章の大きなまとまりや、解説型の文章構成の特徴を理解させたい。その際、1学期に学習した仮説検証型である「ありの行列」との文章構成の違いにも気付かせたい。今後の説明文の読みとりでも、学習したことを生かして読みとりを進めるよう、意識付けを図りたい。

「ひろめる」段階では、学習のゴールや学習の流れをしっかりとつかませ、見通しをもたせながら学習に取り組ませたい。また、調べたい事柄を選び出す、書き出す、文章にまとめるなど、細かく段階を踏みながら、本の作り方を指導していきたい。

「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べた説明文である。児童にも身近に感じられる内容であり、「アップ」と「ルーズ」についての対比的な叙述を理解しやすい文章になっている。問題提起・説明・まとめというように、段落が大きく3つにまとまっており、段落相互のつながりや役割を理解し、文章の構成を考えさせるのに適した教材である。「四年三組から発信します」は、自らが情報の発信者となり、情報の収集・選択・発信を体験できる教材である。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、題名の「アップ」と「ルーズ」という言葉や写真・リード文を手がかりにして、どんなことが書かれているのかを想像させ、読み進めることへの期待感をもたせたい。題名やリード文から、学習のゴール「文章全体の構成をとらえ、文章を簡単にまとめる」を設定し、学習全体の見通しをもたせ、目的意識をもって学習に臨めるようにさせる。初発の感想や疑問に思ったことをもとに単元の学習課題や学習計画を設定し、自分たちの学習だという思いをもたせ、意欲を高めたい。学習の見通しをもたせる活動では、文章の内容をおおまかにつかませたり、文章を3つの大きなまとまりに分けたりすることで、「ふかめる」段階での自主的な読みとりの下地作りを図りたい。

「ふかめる」段階では、学習のゴールである「文章全体の構成をとらえ、文章を簡単にまとめる」という目的意識をもたせながら、段落ごとの内容を読みとらせたり、大きなまとまりごとに段落と段落のつながりをとらえさせたりしていききたい。段落ごとの内容は、アップとルーズの特徴や長所・短所などを対比させながらまとめ、違いがよく分かるように読みとりを進めていききたい。段落と段落のつながりは、段落の内容だけではなく、指示語や接続語にも着目させながらとらえさせたい。「ふかめる」段階では、一人学びと学び合いを中心に課題解決をさせていく。一人学びでは、アップとルーズの特徴や長所・短所が書かれている言葉などにサイドラインを引かせたり、ワークシートに整理してまとめたりする学習を通して、各段落の内容をしっかりと読みとらせたい。また、読みの視点を明示し、視点に沿った学びをする意識をもたせていききたい。学び合いでは、間接指導時に学習リーダーを中心に各段落の内容について話し合わせ、自分の考えを確かめさせたり新たな考えに気付かせたりさせたい。また、直接指導時では、アップとルーズの特徴や違いについて文章と写真を対応させながら考えさせ、児童の読みをさらに深めさせたい。

「まとめる」段階では、段落の小見出しを付けたり、大きなまとまりに大見出しを付けたりしながら、文章全体の構成をつかませたい。文章全体の構成を図に表しながら、第1～3段落と第4～6段落が文章全体でどんな役割を果たしているのか、第7・8段落は前の大きな2つのまとまりとどんな関係なのかを考えさせたい。今後の説明文の読みとりでも、学習したことを生かして読みとりを進めるよう、意識付けを図りたい。

「ひろめる」段階では、学習のゴールや学習の流れをしっかりとつかませ、見通しをもたせながら学習に取り組ませたい。「アップとルーズで伝える」で学習したことを振り返らせ、アップやルーズの効果を考えながら、使う写真を選ぶようにさせる。相手や目的を常に意識させながら、学校や地域を紹介する壁新聞やポスターなどを作らせていききたい。

4 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとする。
- ・伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとする。

(2) 読む能力

- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。
(読むこと イ)
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。
(読むこと オ)

(3) 書く能力

- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。
(書くこと イ)
- ・書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。
(書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章全体における段落の役割を理解することができる。
(言語事項 オ(イ))

5 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・身近な食べ物である大豆について関心をもち、中心となる語や文・段落相互の関係などに着目しながら文章を読もうとしている。

(2) 読む能力

- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解している。
(読むこと イ)
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読んでいる。
(読むこと オ)

(3) 書く能力

- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりしている。
(書くこと イ)
- ・書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して書いている。
(書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章全体における段落の役割を理解している。
(言語事項 オ(イ))

4 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気付き、自分が表現していくときに役立てていこうとする。

(2) 読む能力

- ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
(読むこと イ)
- ・写真と対応した部分に注意して読みとり、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。

(読むこと オ)

(3) 書く能力

- ・取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせることができる。
- ・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。

(書くこと ア)

(書くこと イ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解することができる。

(言語事項 オ(イ))

5 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・「アップ」と「ルーズ」の映像技法に関心をもち、段落相互の関係に着目しながら、文章全体を読もうとしている。

(2) 読む能力

- ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読んでいる。
(読むこと イ)
- ・写真と対応した部分に注意して読みとり、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめている。

(読むこと オ)

(3) 書く能力

- ・取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせている。
- ・書こうとする題材に必要な事柄を集めている。

(書くこと ア)

(書くこと イ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解している。

(言語事項 オ(イ))

6 指導計画(17時間)

段階	時間	学習活動	一人学び 学び合い	具体の評価規準 (評価方法)
第一次 つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・題名やリード文から学習することを知る。 ・本文を読んで初発の感想をもつ。 	<p>初めて知ったことやもっと知りたいことを感想として書く。</p> <p>初めて知ったことやもっと知りたいことを交流し合い、考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題名やリード文から、内容に興味をもち、文章を進んで読もうとしている。(観察・発言)【関】
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想をもとに学習計画を立てる。 ・学習の見通しをもつ。 ・新出漢字と語句の学習をする。 	<p>キーワードにサイドラインを引き、大まかな文章の内容をワークシートにまとめる。</p> <p>おおまかに読みとった内容について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習課題をつかみ、文章を進んで読もうとしている。(観察、発言)【関】 ・おおまかな文章の内容をとらえている。(ワークシート、発言)【読】
第二次 ふかめる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2段落から、大豆がいろいろな食品に姿を変えていることや、大豆の特徴を読みとる。 	<p>大豆の加工食品をワークシートにまとめる。</p> <p>大豆の特徴が書かれている文にサイドラインを引く。</p> <p>サイドラインを引いたところをもとに、大豆の加工食品や大豆の特徴について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆がいろいろな食品に姿を変えていることや、大豆の特徴を読みとる。(ワークシート、発言)【読】
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第3～5段落から、大豆をおいしく食べる工夫を読みとる。 	<p>おいしく食べる工夫が書かれている文にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。</p> <p>ワークシートにまとめたことをもとに、おいしく食べる工夫について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆をおいしく食べる工夫を読みとる。(ワークシート、発言)【読】
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・第6・7段落から、大豆をおいしく食べる工夫を読みとる。 	<p>おいしく食べる工夫が書かれている文にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。</p> <p>ワークシートにまとめたことをもとに、おいしく食べる工夫について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆をおいしく食べる工夫を読みとる。(ワークシート、発言)【読】
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・第8・9段落から、文章のまとめや筆者の考えを読みとる。 	<p>文章のまとめと筆者の考えが書かれている文にサイドラインを引く。</p> <p>サイドラインを引いた所をもとに、文章のまとめと筆者の考えについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章のまとめや筆者の考えを読みとる。(ワークシート、発言)【読】
第三次 まとめる	8・9	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに小見出しを付け、文章全体の構成をとらえる。 	<p>キーワードや各段落の内容から、段落ごとに小見出しを付ける。</p> <p>指示語や接続語・小見出しをもとに、ワークシートに文章全体の構成をまとめる。</p> <p>ワークシートにまとめたことをもとに、文章全体の構成について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの小見出しや指示語・接続語から、文章全体の構成をとらえている。(ワークシート、発言)【読】
第四次 ひろめる	10 17	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたい食べ物についての情報を収集する。 ・情報を整理して、本を作る。 	<p>目的意識をもちながら、食べ物について調べたり、情報カードに書いたり、整理したり、文章を書いたりする。</p> <p>調べたこと、情報カードに書いたことなどについて話し合う。</p> <p>本を読み合い、お互いのまとめ方の良いところを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを情報カードに書いている。(情報カード)【書】 ・情報カードを整理し、調べたいことを事柄ごとに段落に分けて書いている。(文章)【書】

6 指導計画（17時間）

段階	時間	学習活動	一人学び 学び合い	具体の評価規準 (評価方法)
第一次 つかむ	1	・題名やリード文から学習することを知る。 ・本文を読んで初発の感想をもつ。	初めて知ったことやもっと知りたいことを感想として書く。 初めて知ったことやもっと知りたいことを交流し合い、考えを深める。	・題名やリード文から、内容に興味をもち、文章を進んで読もうとしている。(観察・発言)【関】
	2・3	・初発の感想をもとに学習計画を立てる。 ・学習の見通しをもつ。 ・新出漢字と語句の学習をする。	キーワードにサイドラインを引き、おおまかな文章の内容をワークシートにまとめる。 文章を大きな3つのまとまりに分ける。おおまかに読みとった内容と、文章全体の分け方について話し合う。	・おおまかな文章の内容をとらえ、文章全体を大きな3つのまとまりに分けている。(ワークシート、発言)【読】
第二次 ふかめる	4	・第1～3段落から、「アップ」と「ルーズ」の特徴を読みとる。	「アップ」と「ルーズ」の特徴が分かる言葉にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 一人学びしたことをもとに、文章と写真を対応させながら、「アップ」と「ルーズ」の特徴について話し合う。	・「アップ」と「ルーズ」の特徴を読みとっている。(ワークシート、発言)【読】
	5 本時	・第4～6段落から、アップとルーズの違いを読みとる。	「アップ」と「ルーズ」で分かることと分からないことにサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 一人学びしたことをもとに、「アップ」と「ルーズ」の違いについて話し合う。	・「アップ」と「ルーズ」の違いを読みとっている。(ワークシート、発言)【読】
	6	・第7・8段落から、筆者が伝えたいことを読みとる。	文末表現をもとに、筆者の伝えたいことをワークシートにまとめる。 一人学びしたことをもとに、筆者が伝えたいことについて話し合う。	・「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読みとっている。(ワークシート、発言)【読】
第三次 まとめる	7・8	・各段落に小見出しを付け、さらに、段落のまとまりを考えて大見出しを付ける。 ・文章全体の構成を図にまとめる。 ・文章全体の内容をまとめる。	キーワードや中心文をもとに、小見出しや大見出しを付ける。 小見出しや大見出し・指示語・接続語をもとに、文章全体の構成を図にまとめる。 根拠をもとにしながら、小見出しや大見出し・文章全体の構成について話し合う。 小見出しや大見出し・キーワードや中心文をもとに、文章全体の内容をワークシートにまとめる。 根拠をもとにしながら、まとめた文章について話し合う。	・段落相互の関係を理解し文章全体の構成をつかんでいる。(ワークシート、発言)【読】 ・文章の内容に関心をもち、教材文を意欲的にまとめようとしている。(観察、発言)【関】
第四次 ひろめる	9 17	・相手や意図に応じて材料を選び、記事を書いたり割り付けをしたりしながら作品をまとめ、発信する。	目的意識・相手意識をもちながら、学校や地域について取材したり、写真を選んだり、記事を書いたりする。 取材の仕方や、写真の選び方、記事の書き方などについて話し合う。 お互いの作品の良いところや修正した方がよいところを話し合う。	・教材文から読みとったことをもとに、知らせたいことを意欲的に発信しようとする。(観察・発言)【関】 ・相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。(作品)【書】

7 文章構成図

段落		構成	キーワード
初め	話題提示	<p style="text-align: center;">大豆について</p> <p>大豆はいろいろな食品にすがたをかえていることが多いので、毎日食べられていることに気付かれない。</p> <p style="text-align: center;">手をくわえる理由</p> <p>かたい大豆は食べにくく、消化もよくないので、いろいろ手を加えて、おいしく食べるくふうをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆 ・いろいろな食品にすがたをかえている ・かたい ・食べにくい ・消化もよくない ・そのため ・手を加える ・おいしく食べるくふう
中	説明	<p style="text-align: center;">おいしく食べる工夫</p> <p>大豆をその形のまま、いっぴりにたりして、やわらかくする工夫をしている。</p> <p>こなをひいて食べる工夫をしている。</p> <p>大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫をしている。</p> <p>目に見えない小さな生物の力をかりて、違う食品にする工夫をしている。</p> <p>取り入れる時期や育て方を工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆 ・くふう ・いっぴり、にたりする ・やわらかくする ・次に ・こなにひいて食べる ・また ・えいようだけを取り出して、ちがう食品にする ・さらに ・目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする ・これらのほかに ・取り入れる時期や育て方
終わり	まとめと筆者の感想	<p style="text-align: center;">まとめ</p> <p>大豆は味もよく、たくさんの栄養を含み、育ちやすいことから、多くの地域で植えられたので、多くの食べ方が考えられ、いろいろな姿で食べられている。</p> <p style="text-align: center;">筆者の感想</p> <p>大豆のよいところに気付き、食事に取り入れてきた昔の人々の知恵に驚かされる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このように ・大豆 ・いろいろなすがた ・味がよい ・たくさんのえいようをふくんでいる ・そのうえ ・やせた土地でも強く、育ちやすい ・多くのちいきで植えられたため ・大豆のよいところ ・昔の人々のちえ ・おどろかされます。

要旨

大豆は味もよく、たくさんの栄養を含み、育ちやすいことから、多くの地域で植えられたので、多くの食べ方が考えられ、いろいろな姿で食べられている。大豆のよいところに気付き、食事に取り入れてきた昔の人々の知恵に驚かされる。

7 文章構成図

段落	構成	キーワード
初め	<p style="text-align: center;">アップの話題提示</p> <p>画面には会場全体がうつし出されています。</p> <p style="text-align: center;">ルーズの話題提示</p> <p>画面は、コート中央に立つ選手を大きくうつし出しました。</p> <p style="text-align: center;">アップとルーズの定義と問題提起</p> <p>初めの画面のように、広いはんいをうつすとり方を「ルーズ」といいます。次の画面のように、ある部分を大きくうつすとり方を「アップ」といいます。アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画面 ・会場全体 ・うつし出す ・コート中央に立つ選手 ・大きくうつし出す ・アップ ・ルーズ ・どんなちがい ・～でしょう
中	<p style="text-align: center;">アップの長所・短所</p> <p>アップでとると、細かい部分の様子がよく分かります。しかし、走っている選手以外の、うつされていない多くの部分のことは分かりません。</p> <p style="text-align: center;">ルーズの長所・短所</p> <p>ルーズでとると、広いはんいの様子がよく分かります。しかし、各選手の顔つきや視線や気持ちまでは、なかなか分かりません。</p> <p style="text-align: center;">長所・短所のまとめ</p> <p>アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあります。目的に応じてアップとルーズを切りかえながら放送をしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップ ・細かい部分の様子 ・分かります ・しかし ・うつされていない多くの部分 ・分かりません ・ルーズ ・広いはんいの様子 ・でも ・選手の顔つきや視線や気持ち ・このように ・伝えられること ・伝えられないこと ・それで ・目的に応じて
終わり	<p style="text-align: center;">補足（写真について）</p> <p>写真にもアップとルーズでとったものがあります。</p> <p style="text-align: center;">筆者の考え</p> <p>テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことや、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップでとるかルーズでとるかを決めたり、とったものを選んだりしているのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・アップ ・ルーズ ・受け手が知りたいこと ・送り手が伝えたいこと ・決める ・選ぶ ・しているのです

要旨

テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことや、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップでとるかルーズでとるかを決めたり、とったものを選んだりしている。

8 本時の指導（5 / 8）

（1）目標

大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品について読みとることができる。

（2）指導にあたって

「つかむ」段階では、学習課題を確認した後に読みの視点を確認し、学習課題を解決するための見通しをもたせる。「ふかめる」段階では、一人学びで大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品にサイドラインを引かせたり、ワークシートに整理してまとめさせたりし、自分の読みをもたせるようにする。また、学び合いで大豆をおいしく食べる工夫をまとめたり、大豆を加工するとどんなよいことがあるのかを読みとらせたりして、児童の読みを深めるようにさせる。「まとめる」段階では、学習内容を4年生に伝えることで学びの交流を図る。

（3）展開

3 学 年			
教師の支援	学習活動 主発問・児童の反応例	段階	
<ul style="list-style-type: none"> 大豆の特徴を読みとったことを想起させながら、本時の学習課題につなげる。 本時は、第3～5段落を読みとり、大豆をおいしく食べる工夫についてまとめていく学習であることを確認し、学習することを理解させる。 「大豆をおいしく食べるくふう」「大豆から作られた食品」に着目できるように、板書に表し、学習の見通しをもたせる。 	<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大豆をおいしく食べるくふうと大豆の食品を読みとろう。</div> <p>2 読みの視点について確認する。</p>	つかむ 4分	
<ul style="list-style-type: none"> 読みの視点を意識しながら聞くようにさせる。 一人学びの仕方をもとに、一人学びを行わせる。 戸惑っている児童は、「くふう」「～になります」という言葉に着目するよう働きかける。 児童がワークシートにまとめたことを整理しながら板書にまとめる。 既習（第2段落）の「消化もよくありません」という言葉から、大豆を加工するとどんなよいことがあるのかについて考えさせる。 	<p>3 第3～5段落を音読する。（指名読み）</p> <p>4 第3段落の内容を読みとる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">（1）大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品が書かれている所にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 【一人学び】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">（2）大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品について話し合う。 【学び合い】</div> <p>3段落にはどんな工夫が書かれていますか。工夫をするとどんな食品になりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いったりたりして、やわらかくする工夫。 ・豆まきに使う豆。煮豆。 <p>大豆をやわらかくするとどんなよいことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べやすく消化に良い。 	ふかめる 38分	

8 本時の指導（5 / 8）

（1）目標

アップとルーズの違いについて読みとることができる。

（2）指導にあたって

「つかむ」段階では、学習課題を確認した後に読みの視点を確認し、学習課題を解決するための見通しをもたせる。「ふかめる」段階では、一人学びでアップとルーズの違いが書かれている所にサイドラインを引かせたり、ワークシートに整理してまとめさせたりし、自分の読みをもたせるようにする。また、学び合いでは、読みとったことをもとに、接続語や文末表現などに着目させながらアップとルーズの違いをしっかりとつかませるようにする。「まとめる」段階では、学習内容を3年生に伝えることで学びの交流を図る。

（3）展開

4 学 年		
段階	学 習 活 動 主発問 ・児童の反応例	教 師 の 支 援
つかむ 4分	<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> アップとルーズでは、どんなちがいがあのか読みとろう。 </div> <p>2 読みの視点について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの特徴を読みとったことを想起させながら、本時の学習課題につなげる ・本時は、第4～6段落を読みとり、アップとルーズの違いについてとらえる学習であることを確認し、学習することを理解させる。 ・「分かること」「分からないこと」「接続語」「目的に応じて」に着目できるよう板書に表し、学習の見通しをもたせる。
ふかめる 38分	<p>3 第4～6段落を音読する。（指名読み）</p> <p>4 アップとルーズの違いを読みとる。</p> <p>（1）各段落に書かれていることを確認する。 4～6段落にはアップとルーズのどちらのことが書かれていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4段落はアップ。5段落はルーズ。6段落は両方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> （2）アップとルーズで「分かること」と「分からないこと」が書かれている文にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 【一人学び】 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの視点を意識しながら聞くようにさせる。 ・第4～6段落に書かれていることを確認し、アップとルーズの違いがくわしく書かれている第4・5段落から読みとらせる。 ・一人学びの仕方や読みの視点をもとに、一人学びを行わせる。 ・サイドラインを引くところが分からず、戸惑っている児童は、「分かりません」「分かりませんが」「しかし」「でも」という言葉に着目するよう働きかける。 ・ワークシートに整理して書かせることにより、アップとルーズの違いをとらえさせる。

<ul style="list-style-type: none"> ・第3段落で行った読みとりの仕方と同じように、一人学びを行わせる。一人学びが終わったら、間接指導の学び合いを行い、ワークシートにまとめたことを確かめ合わせ、直接指導の学び合いにつなげる。 ・児童がワークシートにまとめたことを整理しながら板書にまとめる。 ・「すりつぶす」「大切なえいようだけを取り出して」「ちがう食品にする」という言葉から、大豆を豆腐に加工すると様々なよさがあることに気付かせる。 ・大豆の工夫や大豆を加工するよさについて思ったこと、気付いたことをまとめさせる。 ・全員が一人学びを終わったら、学習リーダーを中心に、書いたことを交流し合い、修正・付け足しをさせる。 	<p>5 第4・5段落の内容を読みとる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品が書かれている所にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(2) 大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品についてまとめ、大豆を加工するとどんなよいことがあるのか話し合う。 【学び合い】</p> <p>4・5段落にはどんな工夫が書かれていますか。工夫をするとどんな食品になりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粉にひいて食べる工夫。きなこ。 ・大切な栄養だけを取り出す工夫。豆腐。大豆を豆腐にすると、どんなよいことがありますか。 ・すりつぶすので、やわらかく消化によい。 ・大切な栄養だけを取り出すので、栄養が豊富。 </div> <p>6 自分の考えを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日の学習で読みとったことについて自分の考えをワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆をおいしく食べるために、いったり煮たりする工夫や、こなにひいて食べる工夫や、栄養だけを取り出して違う食品にする工夫がある。 ・工夫をすると、消化がよくなったり、食べやすくなったり、栄養が豊富になったりする。 	ふかめる	
	<p style="text-align: center;">具体の評価規準</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート・発言】</p> <p>A - 大豆をおいしく食べるための工夫と大豆食品について読みとり、大豆を加工するとどんなよいことがあるのかを読みとっている。</p> <p>B - 大豆をおいしく食べるための工夫と大豆食品について読みとっている。</p> <p>C の児童への手立て</p> <p>「くふう」という言葉に着目させたり、教科書26ページの写真を参考にしたりしながら、おいしく食べる工夫と大豆食品を読みとるよう働きかける。</p>	38分	
<ul style="list-style-type: none"> ・一つの学習集団としての意識を高めるため、学習内容を4年生に伝えさせ、お互いに聞き合うようにさせる。 	<p>7 自己評価をし、学習したことをまとめ、4年生と交流し合う。</p> <p>8 次時の学習内容の確認をする。</p>	まとめる 3分	

<p>ふかめる</p> <p>38分</p>	<p>(2) アップとルーズの違いについて話し合う。 【学び合い】</p> <p>アップとルーズで分かることと分からないことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップは細かい部分の様子が分かり、映されていない多くの部分が分からない。 ・ルーズは広い範囲の様子が分かり、細かい部分の様子が分からない。 <p>5 アップとルーズを切り替えながら放送する理由について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人学びが終わったら、間接指導の学び合いを行い、ワークシートにまとめたことを確かめ合わせ、直接指導の学び合いにつなげる。 ・アップとルーズの違いを整理して板書に表すようにする。 ・「細かい部分の様子」「広い範囲の様子」について、文章と写真を対応させながら考えさせ、アップとルーズの違いをさらに理解させる。 ・4・5段落を6段落の最初の文でまとめていることをとらえさせる。
	<p>(1) アップとルーズを切り替えながら放送される理由をワークシートにまとめる。 【一人学び】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップやルーズだけの放送だったらどう思うかについて考えさせ、それをもとにして、アップとルーズを切り替えながら放送している理由を書かせる。 ・一人学びが終わったら、間接指導の学び合いを行い、ワークシートにまとめたことを確かめ合わせ、直接の学び合いにつなげる。
	<p>(2) アップとルーズを切り替えながら放送される理由について話し合う。 【学び合い】</p> <p>どうしてアップとルーズを切り替えながら放送しているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップだけだと全体の動きが分からないし、ルーズだけだと細かい部分が分からないので、その時一番知らせたいことを分かりやすく伝えるために、アップとルーズを切り替えながら放送している。 <p>(3) ワークシートにまとめたことを修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような理由でも、自分の言葉で発表させる。 ・アップとルーズは、情報の送り手がその時一番知らせたいことを分かりやすく伝えるために目的に応じて使い分けていることをとらえさせる。 ・何台ものカメラを用意して色々な映し方をしている情報の送り手の心情を考えさせる。 ・友達の考えや学び合いを参考にして、自分の考えを修正させる。
<p>まとめる</p> <p>3分</p>	<p>6 自己評価をし、学習したことを3年生と交流し合う。</p> <p>7 次時の学習内容の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの学習集団としての意識を高めるため、学習内容を3年生に伝えさせ、お互いに聞き合うようにさせる
<p>具体の評価規準</p> <p>【ワークシート・発言】</p> <p>A - アップとルーズの違いについて読みとり、両者を切り替えながら放送している理由をまとめている。</p> <p>B - アップとルーズの違いについて読みとっている。</p> <p>C の児童への手立て 「分かります」「分かりません」という文末表現に着目するよう働きかける。</p>		

(4) 板書計画

すがたをかえる大豆


国分 牧衛

かだい 大豆をおいしく食べるくふうと大豆の食品を読みとろう。

3～5段落

読みのし点

「大豆をおいしく食べるくふう」「大豆からできる食品」

段落	食品
3 大豆をその形のままいたりして、やわらかく、おいしくするくふう	豆まきに使つる豆 黒豆 に豆
4 こなにひいて食べるくふう	きなこ
5 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう	とつぷ 

(4) 板書計画

アップとルーズで伝える

中谷 日出

かだい アップとルーズでは、どんなちがいがあのか読みとろう。

4〜6段落

読みのし点

「分かること」「分からないこと」「接続語」「目的におうじて」

【分からないこと】 伝えられないこと	【分かること】 伝えられること	
<p>走っている選手以外の、うつ さされていない多くの部分のこ とは、分からない。</p>	<p>細かい部分の様子が よく分かる。</p>	<p>アップ</p> <p>↑</p> <p>目的に おうじて</p> <p>↓</p> <p>ルーズ</p>
<p>各選手の顔つきや視線、気持ち までは、分からない。</p>	<p>広いはんいの様子が よく分かる。</p>	

このように

アップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがある。